常磐文藝

こどく

逆境に悶えかねて……人の子の
遂には家を忘れ故郷をすて
昨日は東今日は西
いづこを宿と定めかねた
る旅鳥
風のまに〳〵水の流れの樣
にさすらひの身の悲しさ
夕を告ぐる鐘の音は
見知らぬ他國の夕闇をつ
いて
果しない夜の彼方へ
早春の夜のあわれ深く
そぼ降る雨にも旅は悲し
悶える私の心の樣に
とぼし火があわぐ〳〵
そして死の樣な夜の色は濃
〳〵あらゆる浮世の苦慮と
雜音をすひこんで
淋しく靜かに自然は何事も
語らない夢の夢のすべて
が夢だ
夢から夢をさ迷ふ
美はしい見果てぬ夢を追
ふて行く
それが私の人生だ
この淋しさこの靜けさ
儚ない運命に泣く逆運の子
をたれが慰む

俳句

田舍の湖舟生

下の齒の吸はるる道や
櫻散る
春の夜や鐵砲風呂の
たぎる音
春の夜や祖父の居間なり
お茶を召す
春雨に濡れて耳振る
山馬哉

獨逸高級眼鏡
（メニスカス）
問『メニスレンズを何んで皆さんがお好みになるのです』
答『掛け心地が良くて眼や腦へは絶對弊害がなく晴々するからです』
平町一丁目　常磐屋時計店　電話三三九番

弊店眼鏡部は各國品多數取揃へ
電力應用で速時調製します

錦水流琵琶教授
◇教授日毎日
◇自午前十時
◇至午後八時
◇休日
土曜日
日曜日
大祭
◎但し彈法と歌曲は隔日の事
平田町六十五番地
平手錦鞭
水島香蘭
磐水會本部

外科……泌尿科
皮膚梅病　毒科
阿部醫院
入院隨意
平町字新川町
電話五六七番

評判第一
久保田パン

常磐毎日新聞

定價　一部金貳錢　一ヶ月極ニ限リ　一ヶ月卅錢
廣告料　五號十二字詰一行　五十錢
休刊日　毎月一ノ日　祝日ノ翌日　大祭日
福島縣石城郡平町田町卅六番地　印刷所　一〇活版所
發行兼編輯人　川崎文治
福島縣石城郡平町字長橋町卅五番地　發行所　常磐毎日新聞社
印刷人
四月廿九日　夕刊

寄書

政治は奉仕也（四）

星一

肥料を與へこれを成長せしめ、之に花を咲かせ實を結ばしむる働きをなし居る人、即ち自然と共同作業を爲してゐる人の中に求めねばなりません。此等の人は自然の法則を知りたる永遠性に富んだ、そうして團體生活を能く理解しさうして堅忍不拔の意志に富んだる人であるからであります。

米國の成功者百人中の九十人は農家生れの人であると云つて居ります。

當然のことであります。地方人は茲に自已を發見して、奮起し、選擧廓清の大事業に當らねばなりませぬ。そうして政治を改良し、國家の基礎を堅實にする國家的誠忠を盡さねばなりませぬ。彼の有名なる『大和心を人問はば、朝日に匂ふ山櫻花』の歌を詠んだ本居宣長先生は伊勢松坂の町人でありました、二宮尊德翁は相州小田原の百姓でありました。之れ迄社會の進歩に貢獻した人は、實世界に働いて居る人でありました。

私は選擧が清は地方民に依りて行はるゝことを確信するものであります。私はこゝに止むを得ず戰場裡に立ちました。之れは皆さんが私をして選擧の手本を作成せしめる事に協力一致すると云ふ決議を尊重して立つたのであります。皆さん、現狀に鑑がみ、一番大切なる選擧の手本を協力一致して、美しく作りあげやうではありませんか。其の手本は日本全國の手本になる事は勿論であります。ヨーロッパ、アメリカの手本になる事は出來ないにしても、隣國の支那の手本にしたいのであります。出來るなれば歐米の手本にまでしたいのであります。

× × ×

靴と運動具を
運動のシーズン
野球に庭球に
オリンピックに
是非大塚支店の
運動用具を
お進め致します
御一報次第定價表進呈
平白銀町驛前
大塚支店

眼科
平町紺屋町　吉田眼科醫院

空前の大勉強
神社佛閣附屬彫刻
銅像木像
金看板及
圖案
子弟入用に付き
御希望の方御來談相成たし
平古鍛冶町十九一
玉峰堂

産科
婦人科
平驛前
實川醫院
電話二七〇番

品質本位の金庫は
東京荒木製に限る
福島縣下代理店　平驛前　高野得助商店　電話三二六番
茨城縣下代理店
◎御申込次第カタロク進呈仕候

若し……お求めになつて工合の悪い
點が……あつたら當製作所附屬の
萬年……筆病院にて無料診察の上
全治……せしめます
最高級コサック萬年筆
平町三丁目　高倉萬年筆製作所

株式賣中値
左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇圓	五七〇圓
平銀行	五〇〇	七三〇
磐越銀行	一二五	一〇五
磐城實銀	三〇〇	二九五
田村實銀	一二五	一二五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二四五
同　新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同　新	一二五	一六〇
七七銀行	一二五	九八
郡山實銀	五〇〇	三八五
同　新	二五〇	一八〇
只見川電	一二五	七三
植田水電	一二五	一五五
好間水電	一二五	一四〇
磐城建物	一二五	五五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城勸業	一二五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二三〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一一〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同　新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	六八〇
同　新	二五〇	三七〇
平運送	一二五	八〇

賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願候
東新株　先限實物
前場後場共入電致居候
平町田町　電話三二二番
丸登株式店
川添房二郎

舌栗毛に鞭打つ
星派の猛烈な肉彈戰
愈々大活躍の時期當來
星後援會を組織

星一氏は流石に舞臺を世界に求めて雄飛して居る實業家であるだけに今回の選擧戰に當つても容易に業務を放擲して戰線に沒頭する事が出來ず今月末には一度歸京して社務を處理しなければならなかつか、然るに先般平町の政見發表演說會に於ける反對派の狂態を目擊するに及んで斷然意を決し選擧當日迄は本郡に踏み止まつてあらゆる飛躍を試み氏の理想である模範選擧の達成に努力する事となり連日速夜オートバイを馳驅し左記の如く論陣を張り

（卅日）泉、渡邊、玉川（一日）川部、山田（二日）好間郷内、磐崎（三日）夏井、高久、豐間（四日）川前、小川赤井（五日）草野、大浦、大野（六日）平窪、飯野、鹿島

舌栗毛に鞭打つて所志の貫徹に努め此事に相呼應して星氏後援會の設立を見るに至つたが同後援會の組織は郡内を六區に分ち區毎に各區長を設け區長は受持管内に對し各戸毎に肉彈戰を開始する手筈であるといふ

比佐派應援の婦女團
たすき掛けで

石城郡湯本町では擧町一致を以て比佐昌平氏に應援することに決したことは既報せしごとくだが更に婦人連が婦女團なるものを組織して襷がけ甲斐々々しく炊事は勿論のこと騰寫版刷りやポスター刷りをなし男子連を果然たらしめてゐるが五月一日からは婦女團の戸別訪問隊を編成して有權者を徹頭徹尾比佐氏を當選せしめんといきまいてゐる

石城郡から
青年代表者
全國青年會に

石城郡にては五月中に行はせられるべき　東宮殿下御成婚奉祝大饗宴の機會に於て日本青年會館主催の全國青年代表者大會に出席希望者中から抽籤の結果上遠野青年團小澤貞久君が當籤

生糸と繭に
銀行の貸出
擔保價格引下

日本銀行福島支店が生糸及乾繭に對する貸出し擔保價格の引き下げを斷行した一般銀行は生糸及び繭に對する貸出しに

制限を加へられる事になるので近く會合を催し之れが對策を講ずる由である、而して一般銀行の生糸及繭に對する貸出しの態度は大體時價の七掛見當を標準とし貸付日歩も同業者協定の上最高三錢二三厘を限度とし

日銀　公定日歩（商品擔保二錢四厘）との間に最高七八厘見當の利鞘を見込んでゐたが、本年は日銀が擔保價格を引下げたので日銀の再割引に依頼する一般銀行の貸出し割合も結局六掛け見當に引下げなければなるまいと觀測されてゐる

苗代には速効肥料が適當
八十八夜も迫り漸ぐ農繁期
石城郡技手の談

既報八十八夜も後一週間になつて漸く農繁期となり農家は苗代作りに一生懸命だが苗代の肥料には總べて速効の肥料でなければならぬ即ち下肥、硫酸アンモニアカリン酸石灰、木炭等が適當であつて大豆粕や魚肥の如き遲効のものは不適當でばい、のである

（石城郡農技手談）

募集
文藝其他一般投稿を募集します

ある、一體苗代期間は卅五日乃至四十五日位で充分で苗代に於てあまり苗を伸長せしむるは決して適當の方法ではないのである、それだから苗代の肥料とその準備量は大體に於て一坪當り人糞尿一貫五百匁カリン酸石灰五十匁木炭百匁にすれば

煙の樣に消えた美人
實は磐城高女退校の放縱娘

去る九日茨城縣土浦町周旋業塚本清太郎方に東京生れと稱する一名の美人が訪れて酌婦に世話して呉れと頼み込み其夜小風呂敷から立派な着物を取り出して令嬢風に着飾り何處ともなく姿を匿したので桂庵は狐につままれた樣な氣持で居る處が廿八日午後三時頃右の美人が再び土浦町に姿を現はした爲め清太郎は薄氣味惡くなつて土浦署に屆出た爲め同署梅原刑事が連行して取調べた處實は石城郡湯本町本町稻林ユイ（八）で生來放縱な性質の女である爲め磐城高等女學校を二年で退校され九日に實妹の衣類を持つた儘家出した事が判明歸宅する樣訓戒を與へた旨平署に通報し來つた

肩のこりを治す
カテイラン

肩のこりは、肩ばかりでなく頸部、背部、腰部四肢など全身の筋肉を柔げて、血液を整へなければ完全に全治するものではありません按摩法によるのが第一ですが、單に皮膚をこするやうなもみ方は何にもなりません。指先がその位置からすべらず深く筋肉を押して動かんやうにもむと効果があります。揉まなくとも指で押す丈けでもよいのです。押してははなし、これを繰り返へすうちにはそこの筋肉が解れてきます。素人にはこの方が却つて容易で且有効であります、又里芋か水仙の球かを卸金で卸しそれにメリケン粉同量と生麥卸し一割とを加へて煉り合はせたものを紙に厚くのべて貼つてもよいのであります、救命瓶◎ある人はこれに湯を入れて、その突起の部で筋肉を押してもらつてもよいのであります。また水治療法を行ふもよい方法であります。

不平受付
投書歡迎

新道路と排水　城山から白銀に通ずる新道路が出來た上で出水の時には新道路が水を遮斷し以北の住民は洪水に苦しめられる樣な事となるから直ぐにゴミのたまる樣な細い暗渠では困ります（無名氏）

▼伊坂町長の答　暗渠は充分人が中に這入つて掃除の出來る樣にして置きましたまた出水の場合に水を遮斷する惶れのない樣充分注意をしたのです

石城政友幹部會

石城政友會では先夜平町大村屋旅館にて最高幹部會を開き前代議士白井博之氏外五名出席選擧對策に就き協議する所あつた

常磐片々

○

選擧大學を眞似て選擧巡査と云ふものが出來た

○

今度は選擧軍隊が出來るか

○

斯ふなると一體選擧は何をするものか解らなくなる

○

鼻たらし小僧の棒チギリ同樣なものサ

○

ヘン馬鹿々々しい

海軍志願兵合格採用
兵種
合計廿六名

石城郡に於ける本年海軍志願兵合格採用兵種氏名左の如し

（掌電信兵）泉村鈴木福次郎（機關兵）上遠野村櫛田茂、川部村印南力、田人村蛭田孝一、平町吉田顯同桶井久太郎、夏井村鈴木慶助、豐間村四家恒三郎、鹿島村長瀨幹雄、玉川村齋藤清隆、同高萩樂内郷村野木伊之助、同久野彖雄、同高萩清彌、赤井村小笹武雄、三阪村松崎傳三郎、草野村鈴木三郎、川前村宇佐見鶴治（水兵）泉村佐藤勇藏、飯野村一刀修正、玉川村小野邊利秋内郷村阿部金七、赤井村平野寅雄、永井村高萩太喜治

其後の春蠶況
掃立枚數增加

石城郡に於ける其後の春蠶況は糸價好況ではないが一般に掃立を減少する模樣も見えず又桑樹伸長割合に惡く病蟲害は一般に尠い因に掃立枚數の豫想は白繭一萬五千七百八枚で昨年の掃立枚數一萬五千四百枚より約二分增を示し黄繭は三千三十七枚であつて昨年掃立枚數三千九十八枚に比し約二分增であると

無線電話で磐城丸を呼ぶ
鰹漁が早い

本縣の鰹漁は昨年より一ヶ月位早からうと豫想し目下和歌山縣沖合に遊航中の磐城丸に歸港方を無電によつて命令し近縣沖合の漁場の探査を行はしめる事になつたが各漁村でも漁場發見の報に接すれば直に出船し得る樣準備を爲しつゝある

出はじめた新茶のビラ

茶の香

幾分高氣配

一番に出て走りもの

新茶のビラが茶店にちらほら見え初めました茶といへば青葉若葉の風かほる宇治の里がしのばれますがイの一番に出て走りものは靜岡の南部のものだといふことです、昨年よりは十日も遲れてゐます、出來工合はいまのところ何ともいへませんが、この陽氣ではよい方だといふ見込です、一日まし に靜岡三重の南部の暖い方面から荷が來ますから値段もとん〳〵安くなつてゆきますが小賣相場では去年よりは少糸高氣配で十匁五十錢位を唱へてゐます

平町人事

▲出生

▲樋口小路　佐藤寛義氏長女ハナ子
▲五丁目　馬目留吉氏四女ミツ子
▲新川町　庄司清七氏長男眞
▲長橋町　野木多喜造氏三男清
△八幡小路　佐藤昌訓氏長女ミチ
△蓍城跡　小出英三男英興
▲三丁目　長谷川未吉氏二女綠子
▲五丁目　植頭健太郎氏長女ヒサ子
▲鎌田町

▲婚姻

▲五丁目　佐々木猪三郎氏（三七）
原町遠藤松代（三一）